

石川松任鉄道模型の会との意見交換会で寄せられた意見（令和6年9月協議）

No	石川松任鉄道模型の会からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	J R 金沢総合車両所松任工場跡地について、一般市民が自由に使える多目的ホールや駐車場（フリーマーケットや子供会の行事などで利用できる施設）として整備してはどうか。（投票場所としても利用できればいい。） また、駅前に歩道橋を造り、多目的ホールと駅とを通路でつなぐのはどうか。	跡地の利活用策につきましては検討委員会を組織しており、市でビジョンを策定し、J R 西日本に提案することとしております。 ビジョン策定の際には、委員の意見のほか、各種団体からの要望も検討し、課題整理することとしておりますので、御提案の1つとして検討いたします。
2	J R 金沢総合車両所松任工場跡地について、旧松任町が寄附した土地であり、蒸気機関車をここに持ってきてもいい。鉄道遺産としても残してほしい。	跡地につきましては様々な可能性があるということから、このことも含め活用策を検討したいと思います。
3	加賀笠間駅について、トレインパーク白山へ行くルートがあり、めぐみ白山も含めたにぎわいを創出する拠点としての整備を北陸鉄道も含めて検討してはどうか。	市では広域的な観光産業振興の拠点としてトレインパーク白山を整備しました。加賀笠間駅は遠方からトレインパーク白山に来られる方の最寄り駅として交通の重要な所が主であります。 そのことから、トレインパーク白山に至る二次交通手段の確保も重要であり、その役割を担っている北陸鉄道とは今後も協調していきたいと考えているところであります。
4	松任と鶴来、美川と鶴来をつなぐ交通網の整備が課題ではないか。	御提案の松任地域や美川地域を鶴来地域と結ぶ交通の需要は現状それほど大きくないと認識しております。美川と鶴来を直接結ぶバス路線はございませんが、松任と鶴来を結ぶ路線としてめぐーや北鉄バスの鶴来線、白山線、三反田線がございます。 全国的にバス運転手不足というのが一番の課題となる中、現状の路線を維持していくということも重要な課題であると考えております。 また、それぞれの観光地を結ぶような路線につきましても、まずはその需要を見極めるのが必要であると考えております。

5	2027 年度に車両更新があるが、全て変えるのではなく、文化遺産として残すべきものは展示しながら伝えていってほしい。	旧車両を展示し、後世に伝えていくということは大切なことと考えますが、一方で、そのためには多額の維持管理費用が見込まれ、北陸鉄道は、鉄道としての存続に向け、みなし上下分離方式で県と沿線市町により支援を行う状況にあります。今は旅客輸送事業者として、本業の維持と利用者の利便性向上に経営の資源を集中していただきたいと考えているところであります。 なお、その中で現在検討を行っています北陸鉄道線の再構築実施計画の中には、鶴来駅に鉄道資料館を整備し、鉄道の観光資源化を図ることを盛り込む予定となっておりますので、更新された車両の部品等々を展示していただくということもいいかと考えております。
---	---	--